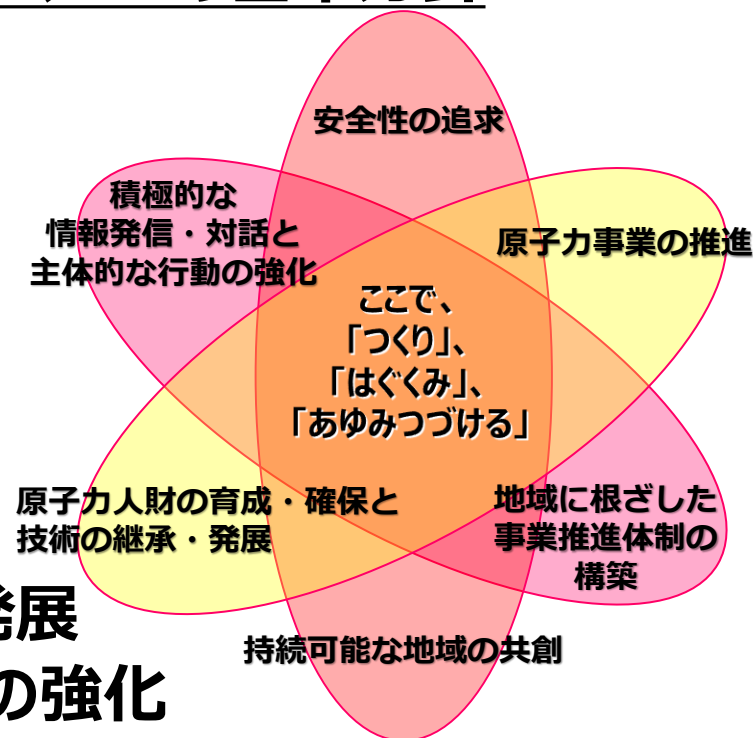


当社は、2019年3月、地域に根差して原子力事業を進めていく基本姿勢を「青森行動計画」としてとりまとめ、同年7月には、それを具体化するため、「青森事業本部」を設置しました。

私たちは、青森行動計画の基本コンセプトである
ここで、「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける」を基本に、6つの基本方針
のもと日々取り組んでいます。

■ 6つの基本方針

1. 安全性の追求
2. 原子力事業の推進
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築
4. 持続可能な地域の共創
5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展
6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化



1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (1/2)

- ◇ 1 日も早い建設再開に向けて新規制基準の申請準備を進めています。
- そうした中で、福島第一原子力発電所の教訓、新規制基準の要求事項、最新の知見などをあらかじめ織り込んだ世界最高水準の安全性を誇る原子力発電所の設計を行うため、日々検討を重ねています。
- 引き続き全力で設計検討等の諸準備を進め、少しでも早く見通しを提示してまいります。

<主な周辺整備作業について>

- 2011年の福島第一原子力発電所事故以降、建設工事を見合わせていますが、建設作業エリアの造成や管理用道路の整備等の周辺整備作業を継続実施しています。



盛土造成

建設作業エリアの造成



道路整備

管理用道路の整備



維持補修

港湾設備の維持補修

1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (2/2)

＜地質調査等について＞

- より安全性に優れたプラント設計を追求するとともに、新規規制基準の適合に向けたデータを収集するため、ボーリングや試掘坑による敷地内の地質・地質構造の調査を継続して実施しています。
- これまで実施してきた地質調査等を踏まえて、安全性を確保したうえで建設を円滑に進める観点から、建設エリア内における建物、設備等の配置計画の変更も検討しています。
- 本社機能を移転した設計チームと建設所、メーカーが連携して検討を進めており、早期の見通し提示、工事再開を目指します。



ボーリング調査



試掘坑調査



試掘坑内部



3. 地域に根ざした事業推進体制の構築（1/3）

- ◇建設再開や原子力事業を進めていくにあたり、機能・人員等の更なる強化が必要なことから、計画的に基盤整備を実施しています。
- ◇現在建設中の東通ヘッドオフィス（仮称）では、地域づくり等にも貢献したいと考えており、防災や地域のコミュニケーションにも資するような施設となるよう建設を進めています。

<「東通ヘッドオフィス」計画>

- 2023年8月よりオフィス棟および住居・交流施設の建設を開始
- オフィス棟は鉄筋コンクリート造2階建
- 住居交流施設は鉄筋コンクリート造3階建



住居・交流施設



オフィス棟



【ヘッドオフィス計画予定地】
東通村の役場などが集積する
「ひとみの里」にて建設中

3. 地域に根ざした事業推進体制の構築（2/3）

<「東通ヘッドオフィス」の特徴>

➤ オフィス棟

1階には一般の方も利用できる屋内広場やシェアオフィス、貸し会議室を配置。2階には当社のオフィスや会議室を中心に配置。太陽光発電や非常用発電機、防災倉庫など備え、災害時にも対応。

➤ 住居交流施設

1階には地域の方もご利用いただける食堂やコインランドリー、ブックコーナーを配置。地域の皆さまとの交流拠点としても活用。2階、3階は当社の社員寮として利用。



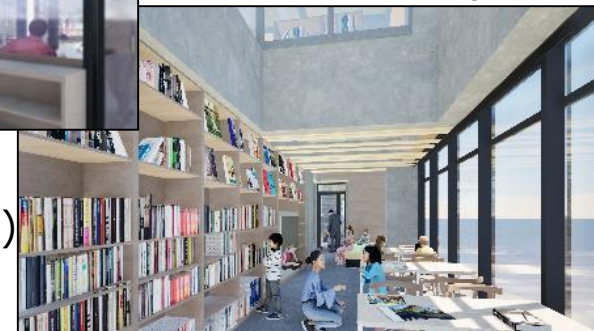
屋内広場
(オフィス棟)

食堂
(住居交流施設)



コインランドリー
(住居交流施設)

ブックコーナー
(住居交流施設)



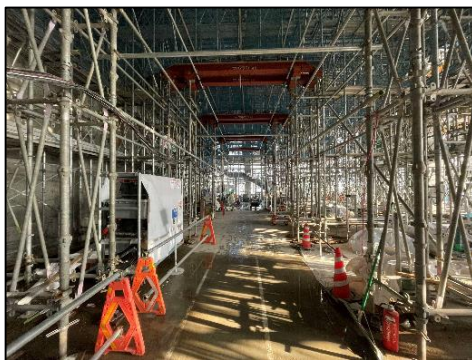
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築（3/3）

<「東通ヘッドオフィス」工事の進捗状況>

- 現在は、今年中の運用開始に向けて、安全第一に工事を進めております。



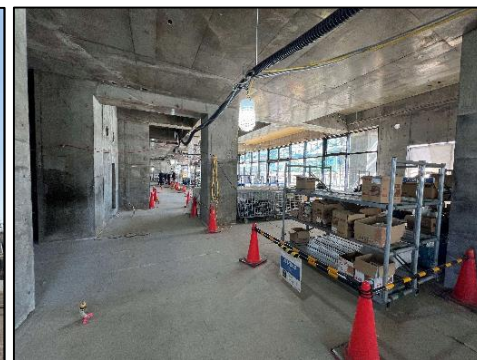
オフィス棟



1F部分



住居交流施設



食堂

※2025年3月撮影

<建設工事中の安全への取り組み>

- 建設中、大型車両の出入りの際には交通誘導員を配置し、一般の方々との事故が起らないよう注意を払うなど、安全を最優先に工事を進めております。
- また、学校行事にも配慮しながら、工事を進めております。

4. 持続可能な地域の共創（1/4）

◇地域の発展と原子力事業の基盤整備につながる事業への貢献や、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域とともに創る取り組みを行っています。

<「一般社団法人東通みらい共創協議会」による主な協力実績>

- 東通村と当社が長期的な時間軸の中で資金を拠出し、持続可能な地域づくりや当社原子力事業の基盤整備等につながる事業に貢献しています。

<これまでの主な協力事業>

- 乳児子育てへの支援
- こども園通園バス運行、高等学校生徒通学への支援
- 小中学校設備導入等への支援
- 診療所設備の更新等への支援
- 避難所利用も可能な多目的集会施設の整備・修繕への支援
- 村への移住・定住促進への支援
- ふるさと納税返礼事業への支援



乳児子育てへの支援



こども園通園バス



村への移住・定住
促進への支援

4. 持続可能な地域の共創（2/4）

<「産業振興」への取り組み>

- 協議会を活用した産業振興の取り組みとして、地域の特産品のギフトカタログを制作し販売しています。東通の産品を県外含めて広く知っていただくよう展開しています。

東通村
ギフトカタログ
ECサイト→



<掲載商品（一部抜粋）>

- 東通牛、ブルーベリー、東通十割そば
- いちご（夏秋いちご、加工品）
- べこもち（東通村伝統菓子）
- 祈水、能舞の郷
- うに醬、海藻類
- こぎん刺し

4. 持続可能な地域の共創（3/4）

<「災害協力協定」への取り組み>

- 2022年2月、東通村と当社と東通みらい共創協議会で締結した自然災害時における協力協定に基づき、これまでに避難所用テント・マット、貸出用モバイルバッテリーや電気自動車
を配備しました。
- その他、村の防災訓練にも参加しています。

<災害協力協定における主な協力内容>

【東京電力】

- ・社員寮等の一部開放
- ・電気自動車による給電

【共創協議会】

- ・避難所用テント・マット、
モバイルバッテリーの貸出



電気自動車による
給電訓練



災害時に向けた
テント設営体験



村内防災訓練への
参加

4. 持続可能な地域の共創（4/4）

＜「学習応援」の取り組み＞

- 今年度から、村全域の小学生を対象に、月に一回程度、学習応援活動「TEPCOふれあいクラブ」を開催しています。当社社員による小学生の宿題のサポートやレクリエーション活動を実施しています。現在は試験的に取り組んでいる状況ですが、将来的には学校・家庭以外の「第3の学習の場」となることなども目指していきたいと考えています。

＜活動の様子＞

宿題のサポート



レクリエーション活動



水鉄砲的あて競争



防災体験

5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展

◇長期にわたり安全最優先に原子力事業を進めるため、原子力人財の育成・確保と技術の継承を行っています。

- 地域に根差した体制の構築のため、青森事業本部に当社本社をはじめ社外等各分野からエンジニア等を順次配置し体制を強化しています。新入社員も計画的に配置し、建設業務に係るノウハウを継承しています。
- 地元人財の確保のため、積極的な学校訪問やインターンシップ（年2回）受入等を実施しています。
- こうした取組みで原子力人財の育成・確保と技術の継承を推進しています。
- 青森事業本部発足時約70名（本部設立前は50名弱）だった職員は2025年2月時点で128名となっております。



学校訪問



インターンシップの受入
（年2回）



原子力人財の育成、技術の
継承・発展に日々注力

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化（1/3）

◇地域に密着した共生活動や情報発信を積極的に行っています。

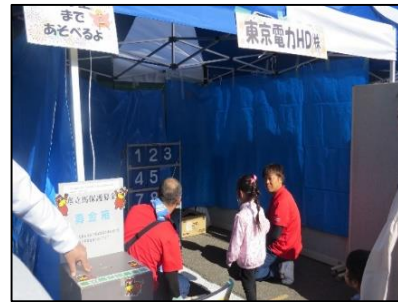
➤ 私たちは地域のみなさまとの更なる関係深化に向けて積極的に対話をしてまいります。

＜主な取組＞

- 地域イベントへの参画・参加（ドンとボン・盆フェスタ、産業祭り）
- 村直売所の運営スタッフへの協力



ドンとボン・盆フェスタへの参画



産業まつりへの参加



村直売所運営スタッフ

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化（2/3）

<主な取組>

- 村内清掃活動(22地区)・下北ジオパーク「北部海岸」清掃への参加、協力企業と合同での国道338号線の清掃活動の実施
- 東通小学校スポーツ少年団(野球、バレーボール、陸上)の支援



村内清掃活動への参加



協力企業と合同での国道338号線の清掃活動



東通小学校スポーツ少年団活動支援

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化 (3/3)

<主な取組>

- 広報誌ゆきしろみず（年2回）の発行、全戸訪問（約2,500戸）による情報発信活動
- 東通物産品の積極的な販売・購入
（東通村フェア：東通物産品の食堂メニュー・本社販売会）
- 東通村の皆さまを東通原子力建設所サイト内視察にご案内



広報誌の発行



全戸訪問



東通物産品を使用した
食堂メニュー・本社販売会



東通原子力建設所
サイト内視察

- 東通原子力発電所は、当社にとりまして、重要かつ必要不可欠な電源です。
- 今後も安全最優先で作業に取り組み、一日も早く建設工事再開の見通しをお示ししてまいります。
- 当社の取り組みを積極的にお伝えすることはもとより、地域の皆さまからの声をしっかりと受け止め、信頼関係を第一に取り組んでまいります。
- 引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

